

Japanese Language

Japanese Language 6

(留(留))

Yasuko OISHI · PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER

1 unit 後期 火 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『日本語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本語(1)』)

Target) 大学生として必要な日本語力を身に付ける。「読む」能力の向上をめざすと共に、レポートや小論文の書き方を身につける。

Outline) 様々なタイプの文章の読解力を養うだけでなく、読み取りのテクニクを身に付ける。新しい語彙・表現の獲得も目指し、これらを元にレポートの書き方も習得する。また講義を受けるだけでなく、留学生同士、留学生と日本人学生のような組み合わせで、レポートの書き方や内容について意見を言い合うピアレスポンスの形態も取り込んで行く。

Keyword) 「読み取り」の方法、語彙・表現の獲得、キーセンテンス・キーワード、ピア・レスポンス

Goal)

1. 論文, エッセイ, 新聞記事, 広告など様々なタイプの文の「読み取り方」を身に付ける。
2. より多くの語彙・文型・表現を身に付ける。
3. 自分の日本語力を見極め、不足している部分の学習方法を獲得する。
4. レポートの書き方を身につける。

Schedule)

1. 授業についてのオリエンテーション, 受講者のレディネス(これまでの学習)調査
2. 難易度をつけて、様々なタイプの文を対象とし、読解演習、文型・語彙の復習または獲得、トピックに沿った調査・タスク①
3. 難易度をつけて、様々なタイプの文を対象とし、読解演習、文型・語彙の復習または獲得、トピックに沿った調査・タスク②
4. 難易度をつけて、様々なタイプの文を対象とし、読解演習、文型・語彙の復習または獲得、トピックに沿った調査・タスク③
5. 難易度をつけて、様々なタイプの文を対象とし、読解演習、文型・語彙の復習または獲得、トピックに沿った調査・タスク④
6. 難易度をつけて、様々なタイプの文を対象とし、読解演習、文型・語彙の復習または獲得、トピックに沿った調査・タスク⑤
7. 難易度をつけて、様々なタイプの文を対象とし、読解演習、文型・語彙の復習または獲得、トピックに沿った調査・タスク⑥

8. 難易度をつけて、様々なタイプの文を対象とし、読解演習、文型・語彙の復習または獲得、トピックに沿った調査・タスク⑦

9. レポートの書き方、アンケートのとり方、グラフの見方、書き方などを実施①

10. レポートの書き方、アンケートのとり方、グラフの見方、書き方などを実施②

11. レポートの書き方、アンケートのとり方、グラフの見方、書き方などを実施③

12. レポートの書き方、アンケートのとり方、グラフの見方、書き方などを実施④

13. レポートの書き方、アンケートのとり方、グラフの見方、書き方などを実施⑤

14. レポートの書き方、アンケートのとり方、グラフの見方、書き方などを実施⑥

15. プレゼンテーション

16. 総括授業

Textbook) 随時プリントを配布する。

Evaluation Criteria) 授業に対する取り組みやレポートなどをもとに総合的に評価する。

Re-evaluation) 無

Message) 的確に内容が読み取れるようになりましょう。また、語彙や文型・表現を更に増やしましょう。前の授業を元に次の授業が展開するので、休まずに出席してください。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221282>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ 大石寧子(国際センター 088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp) (Office Hour: 金曜日9:30~ 12:00 但し事前に連絡があれば、他の曜日・時間でも対応します。)